景観誘導指針チェックシート

【行為の種類】　屋外広告物の表示等

【共通：掲出物件】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 指　　針 | チェック(自己評価) | 配慮した点 | 助言・指導（記入しないでください） | 協議・確認結果（記入しないでください） |
| 適合 | 該当なし |
| 色　彩 | ・外観の基調となる色彩は、著しく派手なものとしないこと。 |  |  |  |  |  |
| ・地域の景観特性を把握し、周辺のまちなみや自然との調和を考慮した色彩を基本とすること。 |  |  |
| ・外観の色彩は、落ち着きが感じられ、水や緑等の存在や周辺のまちなみ景観を妨げないように配慮すること。 |  |  |
| ・ベースカラーは、色彩基準（使用可能なマンセル値の範囲）に適合すること。 |  |  |
| ・サブカラーは、工作物の各面で１／３の面積とし、ベースカラーとの調和に配慮した上で、色彩基準に適合すること。 |  |  |
| ・アクセントカラーは、工作物の各面で1／20以下の面積とし、サブカラーの面積と合計して工作物の各面で１／３以下の面積とすること。 |  |  |

【屋外広告物（デジタルサイネージ等を除く）】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 指　　針 | チェック(自己評価) | 配慮した点 | 助言・指導（記入しないでください） | 協議・確認結果（記入しないでください） |
| 適合 | 該当なし |
| 色　彩 | ・色数は極力少なくし、コントラストの強い配色は避けるような工夫をすること。 |  |  |  |  |  |
| ・周辺の景観の特徴を踏まえ、自己の建物や周囲の建物、山や空などの自然と調和した色彩を採用し、まちなみや自然景観との一体感を持たせるような工夫をすること。 |  |  |
| ・表示面の地色は、すべての色相について、明度６以上、彩度４以下とすること。 |  |  |
| デザイン | ・和泉市の景観イメージを向上させるようなデザイン性の高い広告とすること。 |  |  |  |  |  |
| 屋上広告物の表示面積 | ・１面あたり30㎡以下とする。 |  |  |  |  |  |
| 照明付広告物の照明等 | ・まぶしすぎない明るさとし、過度な点滅は避け、漏れ光による周辺への影響を抑えるよう配慮すること。 |  |  |  |  |  |

【デジタルサイネージ等】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 指　　針 | チェック(自己評価) | 配慮した点 | 助言・指導（記入しないでください） | 協議・確認結果（記入しないでください） |
| 適合 | 該当なし |
| 輝　度 | ・まぶしすぎない明るさとし、夜間においては周辺状況に配慮すること。 |  |  |  |  |  |
| 色　彩 | ・低彩度色を基調とすること。 |  |  |  |  |  |
| その他 | ・表示面の地色は、すべての色相について、明度６以上、彩度４以下とすること。 |  |  |  |  |  |
| ・原則として、音は出さないこと。 |  |  |
| ･ 信号付近の設置は避けること。 |  |  |